

緊急地震速報訓練

6 / 5 (月) の6時間目に緊急地震速報が流れた際に一次避難を行う訓練を行いました。ポイントは、『緊急地震速報が流れたらできるだけ早く机の下にもぐる。』ですが、今回の避難訓練では、以下の2点の改訂ポイントを取り入れ、より実践的で、実効性の高い訓練を行いました。

* 改訂ポイント1：本震のあと、余震が2回起きる。

余震のない地震はほとんどないことを担任から事前指導し、より実践的な訓練にするために、緊急地震速報の報知音の度に、机の下に入る訓練をしました。ただし、余震の回数を生徒には伝えないで行いました。

* 改訂ポイント2：クラスにけが人が出る。

担任から事前説明し、一次避難の際には、落下物や棚などの転倒から身を守ることが一番大切であることを確認するとともに、以下のようなけが人の優先順位の見極め方を学びました。

歩ける ⇒ 緑 (優先順位：低)

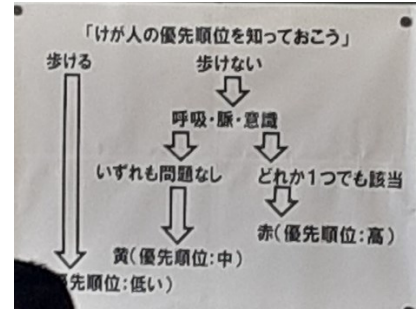
歩けない ⇒ 呼吸・脈・意識 ⇒ いずれも問題なし ⇒ 黄 (優先順位：中)
⇒ どれか1つでも該当 ⇒ 赤 (優先順位：高)

また、事前に学年の1クラスに以下のような緑か黄か赤のけが人を設定しました。教員と生徒が協力しながら、けが人の対応をし、必要に応じて本部に応援を要請しながら一次避難を行いました。

(1年) 緑：地震のゆれで転倒し、膝を擦りむいた。痛みと不安で今にも泣きだしそう。

(2年) 黄：倒れてきた電子黒板に挟まれ足を骨折。意識はしっかりしているが歩行困難。

(3年) 赤：地震のゆれで気持ちが悪くなり、過呼吸になった。その場から動けない。



どのクラスも担任や学年主任の説明をしっかりと聞いて、真剣に訓練に取り組みました。

(生徒の感想から)

- 以前の避難訓練では災害時の怪我についてはあまり分らなかったけど、今回初めて知ったことがたくさんあったのでよかった。地震が起きた時、怪我した人の優先順位を色で分けるのが分かった。
- 余震のある避難訓練は初めてだったので勉強になったし、正直、すごく大切なことなのにどうして今までやらなかったのだろうと思った。今回のようにどんどん改善してほしい。
- 先生からの指示がなくても自分達で身を守ることが大切なの分かった。先生がいない場合などこの訓練をもとに行動できると思った。
- これまで余震を想定した訓練はしてこなかったのが余震も考えて行動しなければいけないということを学んだ。地震は一度大きいのが起きたら終わりではなく、余震が何度も起こることがわかった。